学校番号	1006

令和８年度　総合科

教科	総合	科目	検定講座Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	学習プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

進路実現に向けて検定試験に挑戦する科目です。自分の将来に必要な資格について調べ、資格取得のための学習を受講形式だけではなく、個人またはグループで行うことができます。自ら考えて行動する力を身につけることもできます。資格取得により高校卒業後の進路選択の幅が広がります。

2　学習の到達目標

検定試験のための学習を通じて、高卒業後の進路選択の幅を広げる。自分が目標とする検定試験までのプロセスを経験することで自分の適性や能力を知り、必要な資質や能力を次の通り育成することをめざす。

（１）自ら設定した目標を達成するための知識・技能を習得する。１年間の学習スケジュールを適切に計画し、実行することができる。

（２）知識・技能だけではなく、解答までのプロセスを理解し、周りに伝えることができる。自ら設定した目標や一年間の学習計画を定期的に振り返り、学習方法の見直しや新たな目標設定をすることができる。

（３）授業時間内に必要となる問題量に取り組むことができる。適切な目標を設定し努力することでやる気を向上させ、自尊心および自信を高める。目標を達成する喜びを味わい、目標達成後も更なる向上心を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	検定試験のための知識や技能を身につける。同じ問いでは正しく解答することができる。自分の目標となる基準を上回ることができる。	自分の判断で目標を設定することができる。学習した内容が身についているか否かを判断し振り返ることができる。自らが学習したことおよび方法について発表等を通じて相手に伝え表現力を磨くことができる。	自分にとっての適切なスケジューリング管理ができる。個別の学習およびグループの学習において時間を大切にし、本校の教員に積極的に質問することで有意義なものにする。積極的に取り組む態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	検定試験について知る	目標設定 スケジューリング	a:さまざまな検定試験を知り、各検定試験の基本的事項を理解する。 b:自分に適した教材を準備することができる。 c:自分に適切な目標とスケジュールを設定することができる。	受講態度の観察 教材への取り組みの観察	受講態度の観察 技能観察	受講態度の観察 教材への取り組みの観察
	検定試験への実践	学習	a:基本的な事項についての確認テストに取り組むことができる。 b:目標との差を確認し次の学習につなげることができる。 c:学習機会において、教員に質問することができる。検定試験に申し込み、受験することができる。	受講態度の観察 教材への取り組みの観察 確認テスト	受講態度の観察 技能観察	受講態度の観察 教材への取り組みの観察
2学期	振り返り	振り返り 発表	a:確認テストや検定試験結果で目標の基準を上回ることができる。 b:自分の取り組みについて発表等を通じて相手と共有し伝えることができる。振り返りによって次の目標を再設定することができる。他の生徒の発表に関して意見することや自分に取り入れることができる。 c:自分の次の目標のために取り組むことができる。	受講態度の観察 教材への取り組みの観察 振り返りシートの状況確認	受講態度の観察 技能観察	受講態度の観察 教材への取り組みの観察
	検定試験への実践	学習	a:基本的な事項についての確認テストに取り組むことができる。 b:目標との差を確認し次の学習につなげることができる。 c:学習機会において、教員に質問することができる。時間を有意義に使い、自分の目標に向けて取り組むことができる。	受講態度の観察 教材への取り組みの観察 確認テスト	受講態度の観察 技能観察	受講態度の観察 教材への取り組みの観察

3学期	振り返り	振り返り 発表	a:確認テストや検定試験結果で目標の基準を上回ることができる。 b:自分の取り組みについて発表等を通じて相手と共有し伝えることができる。振り返りによって次の目標を再設定することができる。他の生徒の発表に関して意見することや自分に取り入れることができる。 c:自分の進路実現に向けて、次の目標のために取り組むことができる。	受講態度の観察 振り返りシートの状況確認	受講態度の観察 技能観察	受講態度の観察 教材への取り組みの観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度